



新社屋が竣工して1年。

「いのちをまもる 未来につなぐ」というモットーのもと、
新社屋の「4つの理念」に基づいた活動をおこないました。



備える

● 災害救護活動の拠点となる 能登半島地震救護活動

● 防災を体験しながら学んでもらう 赤十字防災セミナー

防災セミナーのお申し込み



協働

● 効率的、機能的な業務 各種会議・研修会の開催

● ボランティアが活動し、交流する 地域ふれあいまつり

各種講習会のお申し込み



伝える

● 赤十字を知ってもらう 新社屋見学研修会

見学研修会のお申し込み



育む

● 未来を担う青少年を育む 各学校の受入れ



広がる赤十字の輪 地域の赤十字活動

コロナ禍も明け、地域の赤十字活動が以前のように行われるようになってきました。
地元でのボランティア活動やイベントでの安全管理活動、義援金募集など
県内様々な場所で赤十字の輪が広がっています。

観桜会での救護活動



新潟県赤十字安全奉仕団 上越市分団のみなさんは、「高田城址公園観桜会」にて、救護活動を行っています。訪れた方が安心してお花見ができるように、花見会場の見回りや、けがをしたり、具合が悪くなったりした方への手当てを行っています。

リーダーシップ・トレーニングセンター



青少年赤十字加盟校として赤十字活動に協力していただいている学校を対象に、毎年学校の先生たちとともに「リーダーシップ・トレーニング・センター」(以下、トレセン)を実施しています。児童・生徒のリーダーシップを育てることを目標としており、令和5年度は県内5地区7会場で実施。カヌー体験や防災グッズづくりなどを行いました。最初は緊張した面持ちで集まった子どもたちですが、活動を通して仲が深まり、協力して取り組む姿や積極的に発言する姿が見られました。

青少年赤十字加盟校と赤十字奉仕団による義援金募集活動



令和6年能登半島地震災害を受け、胎内市立中条中学校の生徒のみなさんと胎内市赤十字奉仕団のみなさんが義援金募集活動を実施しました。あいにくの天気でしたが、生徒のみなさん、赤十字奉仕団のみなさんが一生懸命声を出して活動してくださいました。「被災地のために何かできることを」、そうした気持ちをついに活動は被災された方々だけでなく、赤十字活動全体の励みになります。

黄色い交通安全帽の交付



新1年生を交通事故から守り、ドライバーに交通事故防止を啓発するために、日本赤十字社新潟県支部、県及び市町村は「黄色い交通安全帽」を交付しています。昭和47年から継続するこの事業は、現在では、日赤・県・市町村の3者のほか協賛6団体※のご支援をいただき行われています。令和6年度は計16,070個を交付しました。これからの未来を担う子どもたちの交通事故防止及び交通安全意識を育むためにも事業を継続してまいります。

- ※協賛6団体(敬称略、順不同)
- 公益社団法人 新潟県トラック協会
 - 公益財団法人 新潟県交通安全協会
 - 一般社団法人 新潟県安全運転管理者協会
 - 一般社団法人 新潟県指定自動車教習所協会
 - 一般財団法人 新潟県自動車練習所
 - 新潟県日赤有功会

皆さまのご寄付が唯一の活動財源です。

日本赤十字社は公平で中立な活動が求められるため、国や県から補助を受けることなく県民の皆さまからのご寄付のみで活動を展開しております。今後もいのちを救うための赤十字活動が行えるよう、皆さまからの温かいご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

